# 令和５年度（２０２３年度）　学習の手引き（シラバス）

長野県岡谷工業高等学校

| 教科 | 工　業 | 科目 | コンピュータシステム技術 | 単位数 | ３ | 学年 | ３ | 科 | 情報技術科 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

## １、科目の目標

コンピュータシステムに関する基礎的な知識と技術について実習をとおして習得させ、情報技術を活用する能力を養う。主体的に課題を設定し、発展的、研究的な学習を実施するのに必要となる総合技術および先端的技術について、課題研究との連携の上に目的意識を持って取り組む態度を養う。

## ２、使用教科書・副教材

コンピュータシステム技術　（実教出版）

## ３、学習の計画

| | | 学習の内容 | 考査範囲 | 予定時数 |
|---|---|---|---|---|
| 一学期 | ４月<br>５月<br>６月 | ＜コンピュータシステムの概要＞<br>・コンピュータシステムに必要な技術<br>・コンピュータシステムの構築<br>＜ネットワーク技術＞<br>・通信技術 | 考査は行わない | ３０ |
| 二学期 | ７月<br>８月<br>９月<br>１０月<br>１１月 | ＜コンピュータシステムの開発と評価＞<br>・システム開発の基礎<br>・システム開発<br>・システムの評価と運用保守<br>＜マルチメディア技術＞<br>・マルチメディアのディジタル化技術 | 考査は行わない | ４２ |
| 三学期 | １２月<br>１月<br>２月<br>３月 | ＜マルチメディア技術＞<br>・マルチメディアの活用 | 考査は行わない | ３３ |

## ４、評価の方法

| | | |
|---|---|---|
| **主体的な言語活動** | | 対話型学習を軸に、発問や記述の両面で言語活動を行う。 |
| | **関心･意欲･態度** | 授業態度、提出課題の取り組み方等、総合的に実習に取り組んだかを評価する。 |
| | **思考･判断･表現** | 課題への取り組みや進め方に対して、個人で考え判断できるかを評価する。 |
| | **観察･実験の技能** | 完成課題、実験結果のまとめに対して、正確性をみて判断する。 |
| | **知識･理解** | 提出課題の正確性と記述内容、提出課題への取り組み方を評価する。 |

## ５、学習にあたっての注意とアドバイス

・各学習内容及び製作物が以後の専門教科学習へとつながっているものであるので、休んだ場合には、事由に関係なく早急に担当者へ申し出て補充を受けるものとする。
・週３時間を集中して実施し、効率的に取り組めるようにする。
・「実習」「課題研究」との関連のなかで４班編制で実施し、効果的・効率的に学習を展開する。
・課題やレポートの提出が期限より遅れた場合は、遅延課題を課す。